



子供が主役の学校



概要版

墨田区立第三寺島小学校 校長 関口 亮治

「子供が主役」の学校づくりを目指す
～子供たちの「学力向上」と「安心・安全」の保障～

子供が主役の学校

子供一人一人の「生きる力」を育むために、主体的に課題を周囲と協働して解決していく資質・能力を育成していく。また、子供たちが安心して過ごせる居場所としての学校にする。

地域に開かれ・根ざした学校

地域と学校の信頼関係、保護者と地域の信頼関係を築き、それぞれに責任を果たしながら、地域に親しみを持ち、人との関わり合いを大切にできる子を育てる。学校を中心に互いに信頼関係を構築することで、この三寺小地域で暮らすことへの誇りをもてるようにする。

東京都の目指す教育 東京都教育施策大綱

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育
東京の目指す教育の実現に向け、基軸となる3つの「学び」

- ・子供の意欲を引き出す学び
- ・社会全体の力を生かした学び
- ・ICTの活用による学び

墨田区が目指す子供の将来像 墨田区教育施策大綱

- (1) 将来、社会で活躍し、地域に貢献できる自立した人
 - ・感性豊かでいろいろなことに興味・関心をもって学び、実践できる人
 - ・自己肯定感を育みながら、まわりの人の立場や気持ちを思いやることができる人
 - ・スポーツや遊びを通じて健やかな体を育むことができる人
- (2) 郷土に誇りを持ち、異文化とも敬意をもって積極的に交流できる国際感覚のある人

令和6年度における主要な教育課題 墨田区教育委員会

- ◆全ての幼児・児童・生徒の可能性を引き出す「個別最適な学び」と「教働的な学び」の一体的な実現と確かな学力の定着
- ◆いじめ・不登校の対策強化
- ◆今日的な教育課題（自己有用感及び自己肯定感の醸成と非認知的能力を育む取組の推進等）

学校の教育目標

- じょうぶな体をつくる子→運動が好きになる 健康のため自己管理ができる 自他の生命を大切にする
- 進んで学ぶ子→分かる・できる・定着する・楽しい授業 「本物から学ぶ」体験的な授業 環境教育
- おたがいを大切にできる子→安心して過ごせる居場所 安心・安全の知識 思いやり、勇気を育む
- 人のために働ける子→他の幸せを自分の喜びにできる「利他」 仲間と共に助け合える

教職員の基本姿勢 「子供が主役の学校」

- 保護者と共に児童の成長を喜び合う。明るさや温かさを根底にしながら、指導すべき点は明確に伝わり、身に付くよう温かく寄り添って指導する。(体罰・暴言はあってはならない。)
- 子供の思いを受け止め、良いことと悪いことを明確に教える。励まし続ける指導を進める。
- 特別支援教育への理解を深め、一人一人の良さを伸ばし、分かる・できる・考える喜びのある授業・教育活動を追求し、日々研修・研鑽に努める。
- 保護者・地域と温かい関係を築き、共によりよい学習環境・居場所を創造する。
- いじめを絶対に許さず、偏見や差別をなくす人権尊重教育の徹底に努める。(呼名・言葉遣い)
- 教師自身が児童の手本となる。率先垂範 凡事徹底 明るく優しく公平で知性的な教師

○じょうぶな体をつくる子

①運動が好きになる

- ・体育の授業の充実（年間計画の充実や専門家を招いての授業 校内研修による授業改善）。
 - ・年間を通した計画的な体力づくり。
 - ・長なわ跳び等、仲間とチャレンジすることを楽しむ。
- 「共遊び」の推進。

②健康のため自己管理ができる

- ・望ましい基本的生活習慣の定着。
早寝・早起き（睡眠時間の確保）・朝ご飯・運動
家庭でのSNSルール
- ・ソーシャルスキルトレーニング（社会性）。
- ・ストレスマネジメント（気分のコントロール）。

③自他の生命を大切にす - 健康への意識

- ・食育推進 学校給食との連携・食物の栽培や出前授業など体験的な学習。本物から学ぶ。
- ・心と体、命を大切にす学習。
発達の段階の応じたがん教育、認知症理解、
SOSの出し方に関する授業。

○おたがいを大切にできる子 安心・安全

①安心して過ごせる居場所としての役割

「いじめ・暴力を許さない」
「規範意識の醸成と実践」

行動目標
いじめ0
不登校0

- ・いじめを生まない関係作り。
「言葉遣いは心遣い」
- ・アイチェックを活用した学級づくり。
→意欲の向上・自己肯定感の向上を目指す。
児童のサインを見逃さない。
- ・学校生活・社会の約束を守る。自分たちで課題に
気付キルールを守る。「三寺あいことば」

②安心・安全の知識

「自分の身は自分で守る。自助」

- ・SNS等の関わり方・メディアリテラシーの学習。
- ・不審者対応、薬物乱用防止等の学習、セーフティ
教室、交通安全教室、避難訓練（様々な想定場面での
訓練）。
- ・安全指導日の指導の充実（安全教育プログラム）。

③思いやり、勇気を育む

- ・自己肯定感を高める指導、支援。
「生徒指導提要（改訂版）」（文部科学省）の
理解と活用
- ・どの子にも出番のある、主体性を引き出す達成感
のある行事。

<特別支援教育の充実>

- ・ユニバーサルデザインの視点にたった環境作り。
- ・教室掲示、ICTの活用で子供の特質を考慮する。
- ・実態把握・相談体制づくり。

○進んで学ぶ子 学力向上

①「分かる」、「できる」、「定着する」、「楽しい」 授業の展開

学習指導は、生活指導の基本。

子供たちが主体的に生き生きと活動する授業を
進めていく。

- ・楽しく、よく分かることによって基礎・基本が身に付
き、学習意欲が高まり、課題解決能力も高まる。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業
改善を重ねる。
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な
充実。
多様な見方・考え方を大切にす。
根拠をもって対話や話し合いを重ねる。
- ・学び方を学ぶ。⇒調べ方、ノート指導、ICTの効果
的な活用（一人1台端末を文房具として）。
- ・校内研究テーマ
「主体的に学びに取り組む児童の育成」

②「本物から学ぶ」体験的な授業

- ・地域がもつ「人・もの・こと」等の本物との出会いを
大切にす、体験的な授業の充実を行う。
- ・外部や地域の講師と連携した取組の推進。
- ・知的好奇心を高める働きかけ。⇒学習意欲を高める。

③環境教育の充実

- ・「持続可能な社会のつくり手の育成」を目指し、
SDGs・ESD・環境教育の充実を図る。
ビオトープ、校庭花壇の活用。

○人のために働ける子

①他の幸せを自分の喜びにできる「利他」

- ・当番活動・委員会活動「みんなのためになる、学校
が楽しくなる工夫」。
- ・環境美化 清掃・後片付け（ゴミを拾う、靴をそろ
える、傘立てをきれいにす等）。
言われてやるのではなく、進んでやる「自主性」を
校風にまでしていく。

②仲間と共に助け合える

- ・困っている友達に、優しく接することができる。
- ・道徳教育・特別活動の充実。
よりよく生きるための実践につなげる道徳。

<幼保小中一貫教育の推進>

寺島中学校ブロックで11年間を見通した一貫した知・
徳・体の育成
寺中ブロック目標「主体的に学ぶ子供の育成」
寺島中 第三吾嬬小 第三寺島小 幼稚園・保育園
<幼稚園との年間を通した互恵性のある教育活動>

<特別支援教室「まなび」拠点校>

- ・3校（三寺・八広・三吾）における特別支援教育の充実。
- ・学級で生きる指導の充実。「般化」「連携」

【チーム学校】 子供一人一人に多くの教員が関わる。教科担任制・交換授業 子供理解

開校96周年、開園56周年、新たな歴史を刻む

地域と共に子供をそだてる三寺小 幼稚園と共に